

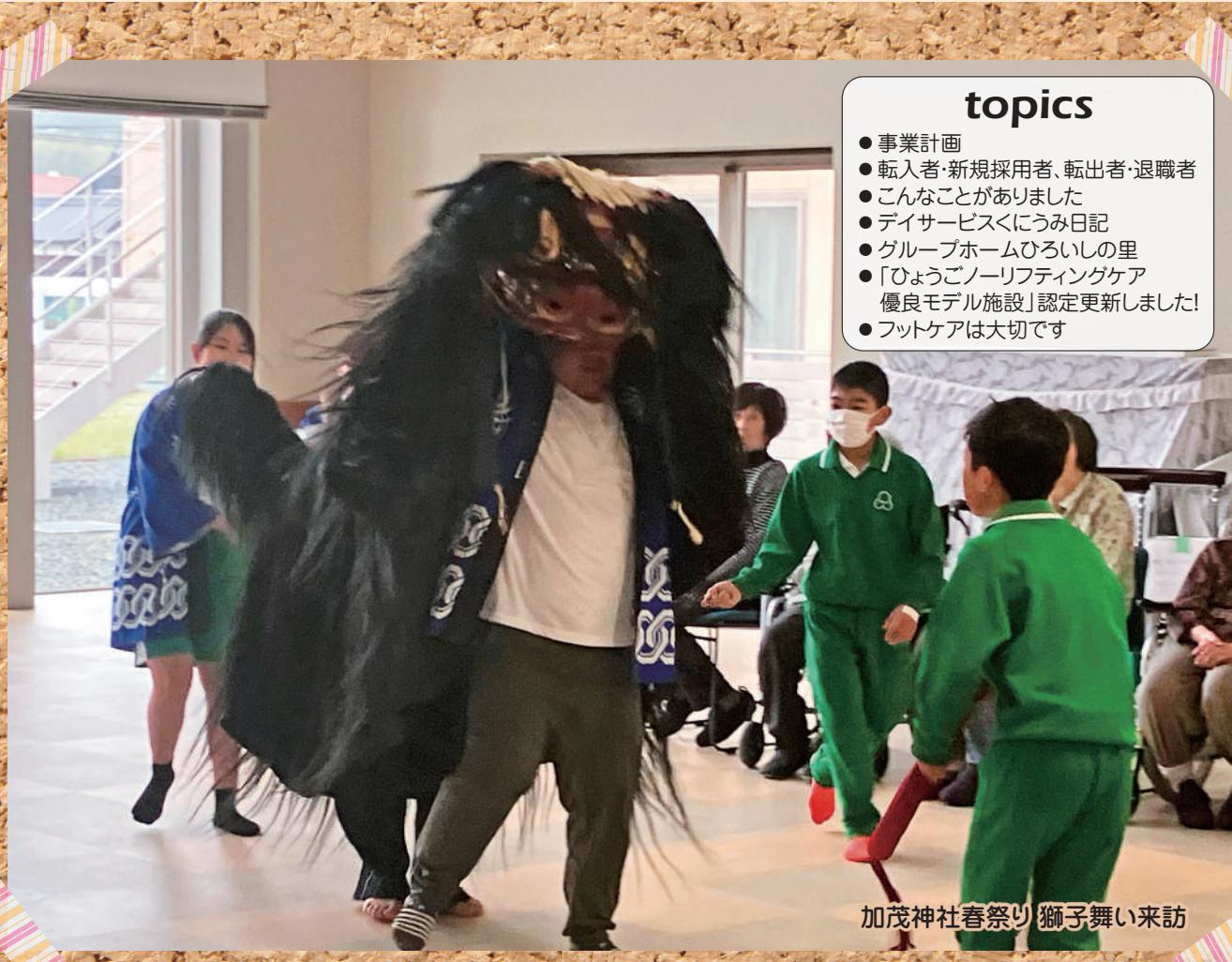
“つながろう”人と地域とくにうみの里

くにうみ

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団

第14号

令和7年6月



topics

- 事業計画
- 転入者・新規採用者・転出者・退職者
- こんなことがありました
- デイサービスくにうみ日記
- グループホームひろいしの里
- 「ひょうごノーリフティングケア 優良モデル施設」認定更新しました!
- フットケアは大切です

特別養護老人ホーム **くにうみの里** 〒656-0013 洲本市下加茂1丁目6-6 TEL 0799-22-3344 FAX 0799-22-1188
メール info_kuniuminosato@hwc.or.jp ホームページ <http://www.hwc.or.jp/kuniumi/>

ごあいさつ

支援課長 島崎洋子

くにうみの里は、開設以来、このキャッチフレーズを掲げています。地域の方々から信頼された県立淡路病院の跡地に開設したくにうみの里。地域へ開かれ、人とひとが自然に交流できる場所でありたいと、取り組んで参りました。

残念ながら、感染症の流行時には、あらゆる交流を中断せざるを得ませんでしたが、流行前、施設の中を地域の子供たちが走りまわっている光景は今まで忘れられません。目指すのは「施設」という壁を取り払うことです。まだまだ、歩みは遅く、皆様方のご期待に十分に応えることはできておりませんが、令和7年度は地域の皆様にもキッズスペースや展示スペースをご利用いただけるように計画しております。皆様に信頼される施設であるよう、歩みをとめることなく進めて参りますので、あつかましくも、更なるご協力をどうぞよろしくお願いします。

くにうみの里が開設されて、9年を迎えます。ご利用者、ご家族、地域の皆様方のお力添えにより、ここまで運営することができます。感謝申し上げます。

くにうみの里は、開設以来、このキャッチフレーズを掲げています。地域の方々から信頼された県立淡路病院の跡地に開設したくにうみの里。地域へ開かれ、人とひとが自然に交流できる場所でありたいと、取り組んで参りました。

くにうみの里が開設されて、9年を迎えます。ご利用者、ご家族、地域の皆様方のお力添えにより、ここまで運営することができます。感謝申し上げます。

令和7年度 くにうみの里 事業計画

I 時代に求められる利用者本位の質の高いサービス提供

常に時代の変化に目を向け、利用者の個別ニーズに真摯に応えるために、高い人権意識を持ち、医療や看護、リハビリ及び介護技術等の専門性を向上させ、先進的なアプローチで、その人らしい自立した生活の実現に向けて支援する。

1 高齢者施設

- (1) ノーリフティングケアの取組推進
- (2) 介護現場の生産性向上（介護の質の向上）の推進
- (3) 個別支援の推進
- (4) 居宅系事業の展開

2 虐待・不適切行為の防止、事故防止の取組強化

- (1) 虐待・不適切行為防止の取組
- (2) 事故防止の取組

II 地域共生社会の実現に向けた取組

地域の一員として、パートナーシップを大切にし、共に学び合い、成長する共生社会の実現に向けて取組み、地域の発展と福祉の向上に貢献する。

1 多世代が交流できる安心拠点づくり

2 地域住民の健康づくり・福祉学習の支援

3 「くにうみヴィレッジ」における取組

4 法人及び施設の魅力・価値の発信強化（広報の推進）

III 人材の確保・育成・定着と魅力ある職場づくり

職員がやりがいを持ち続け、能力を最大限に伸ばし成長できる職場づくりをめざし、未来を見据えた人材の確保・育成を通じて職場の魅力向上に積極的に取り組む。

1 「働き方改革」の推進（人材定着対策）

- (1) 業務の効率化・負担軽減の取組の推進
- (2) ハラスメント対策の推進
- (3) 職場復帰及び両立に向けた支援の実施

2 専門人材の育成・強化等の推進

3 アウトプット・インプット機会の創出による職員の成長支援

4 多様な人材確保対策の推進

IV 持続可能な法人運営

安定した法人運営を継続するため、常に時代の変化に適応し、適切な経営目標の設定と進捗管理、事業の適正化（スクラップ&ビルト）等、公正・効率的な運営を推進する。

●転入者・新規採用者（令和7年4月1日）●



次長兼総務課長
笠原 弘一
万寿の家から転入



支援員
井崎 良一
あわじ荘から転入



支援員
花田 佑介
五色精光園から転入



支援員
倉本 大嗣
新規採用



支援員
安田 慶蔵
新規採用



介護支援専門員
下條 範子



介護補助
松下 芳久



宿日直代行員
渋谷 修

●転出者・退職者（令和7年3月31日）●

次長兼総務課長
米倉 敬司
五色精光園へ転出

支援課長
碓井 秀樹
あわじ荘へ転出

支援員
新谷 賢次
退職

支援員
米澤 翼
退職

支援員
富貴 茉美
退職

こんなことがありました



セタ



書道クラブ



くにうみ神社



ChizuRu&村上二郎さん



敬老祝賀会



パッチワークキルト展



いびつ餅づくり



笑むほんず カフェ



納涼祭



サロンドメイピアノコンサート



洲本実業高校美術部さん



郷土の味 すんだ餅



なのはなこども園交流



有住左兵衛&国芳宣英さん



ゴロ卓球



特別支援学校展示



ピアノ教室

ディサービスくにうみ日記 ~宇原会館でお花見~

ディサービスの外出活動で、今年の春も宇原会館にお花見に行ってきました。ご利用者の皆さん、車から降りたとたん「きれいやな~」「久しぶりに満開の桜見たわ」「お酒は??」と話が弾んでいました。

外に出た時の表情は皆さま一段と明るさが違います。これからもご利用者さんが、笑顔で前向きに過ごしていくようお手伝いをしていきます。



～グループホームひろいしの里～

五色町広石にあります認知症対応型共同生活介護事業所 グループホームひろいしの里が令和6年4月よりくにうみの里の所管になりました。

現在、18名の方がお住まいです。食事を作ったり、日光浴やレクリエーション、体操などに積極的に取り組み、気候の良い日には、外出を楽しんでいます。

これからもお一人おひとりに合わせたケアを行っていきます。



「ひょうごノーリフティングケア優良モデル施設」認定更新しました!

くにうみの里は、兵庫県から「ひょうごノーリフティングケア優良モデル施設」の認定を受けていました。このたび、認定期間満了に伴い、3年間の取り組みについて審査を受け、更新することが出来ました。令和7年4月から3年間、優良モデル施設として、ノーリフティングケアの推進・啓発に努めています。

医務室より フットケアは大切です

「高齢者の足や足の爪の健康を保つことは高齢者の生活そのものを守ることもある」と言われることがあります。しかし、高齢者の7割以上の方が足や足の爪に何らかの問題を抱えているそうです。

当施設でも入所されている大半の方が程度の違いはありますが、肥厚爪や巻き爪、外反母趾等、様々なトラブルを抱えておられます。原因としては、その方の骨格や生活習慣、サイズの合わない靴などだそうです。また、高齢になると、自分でケアをすることが難しくなること、足を他人に見せるのが恥ずかしく相談できないことがトラブルを抱える続ける要因です。

フットケアは大切であるにも関わらず、現状として高齢者施設内では他のケアに比べて優先度が低く後回しになってしまいがちです。足の痛みや炎症、爪のトラブルをきっかけに看護師に声がかかることもあります。そうなる前に対応できたらと考え、フットケアについて日々学習し、ニッパー式の爪切りや爪ヤスリ、グラインダーと言う機械を活用し足のトラブル回避のために活動中です。当施設ではシーフィッターの定期的な訪問もあり、足や靴について相談できる体制も整っています。

暑い日々が続きますが、熱中症予防に十分注意してください。
こまめな「水分補給」を意識して、
室内では「無理をしないで冷房を使
用し、特に屋外での長時間の活動は気をつけ
て「お過ごし下さい。

編集後記

はま坂に、
ハマっちゃお!

浜坂温泉保養荘 1泊2食 8,380円~

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775

くにうみの里
facebook.

<https://www.facebook.com/kuniuminosato/>

くにうみ
インスタグラム

<https://www.instagram.com/kuniuminosato/>